



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社 電響社

上場取引所 東

コード番号 8144 URL <https://www.denkyosha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 周平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部統括部長兼経理部長 (氏名) 栗嶋 裕充

TEL 06-6644-6711

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	27,599	12.3	496		830	351.4	524	493.5
2020年3月期第2四半期	24,569	15.0	87		183	35.7	88	54.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,276百万円 (243.4%) 2020年3月期第2四半期 44百万円 (69.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	85.99	
2020年3月期第2四半期	14.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	36,989	25,719	69.5
2020年3月期	34,539	24,564	71.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 25,719百万円 2020年3月期 24,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	6.6	580	397.6	1,200	59.0	750	82.2	122.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.6「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	6,665,021 株	2020年3月期	6,665,021 株
2021年3月期2Q	564,804 株	2020年3月期	564,741 株
2021年3月期2Q	6,100,232 株	2020年3月期2Q	6,100,431 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により社会・経済活動が大きく停滞し、企業収益や景況感の悪化、個人消費の減退やインバウンド需要の消失など、極めて厳しい状況で推移いたしました。

また、同感染症は、世界各地においても感染拡大が続く中、企業活動や経済活動が多大な制約を受けるなど世界経済に深刻な影響を及ぼしており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

5月に緊急事態宣言が解除されたものの、同感染症の収束時期は未だに見通せず、今後も企業活動の在り方、生活様式、消費者の購買動向は大きく変化してくるものと思われまます。

当社グループの主要販売先である専門量販店等におきましては、実店舗でのインバウンド需要の消失に加え、同感染症の拡大防止のために休業を余儀なくされた店舗があった一方で、同感染防止対策用品の需要拡大、生活様式の変化による巣籠り需要の増加、ECサイトでの購入拡大等もあり、当社グループが取り扱う生活関連商品の需要は伸長いたしました。

こうした状況の下、当社グループにおきましては、グループ社員の感染防止策を講じたうえで、消費者が求めている商品、生活様式の変化に対応する商品の発掘など、積極的な営業施策を推進してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は275億9千9百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

一方、利益面におきましては、売上総利益率の改善、並びに今般の社会情勢に対応しつつ販売費及び一般管理費全般の見直しを図ったこと等により、経常利益は8億3千万円（前年同期比351.4%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券評価損2千6百万円、固定資産除却損4百万円を特別損失に計上いたしました。5億2千4百万円（前年同期比493.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末比24億5千万円増加し、369億8千9百万円となりました。

これは主に、現金及び預金で7億9千7百万円、受取手形及び売掛金で11億8千7百万円、電子記録債権で1億8百万円それぞれ増加、たな卸資産で2億4千3百万円減少したことなどにより、流動資産で18億1千3百万円増加、投資その他の資産の投資有価証券で10億6千6百万円増加、長期預金で3億2千5百万円減少したことなどにより、固定資産で6億3千6百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末比12億9千5百万円増加し、112億7千万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が4億3千4百万円、短期借入金で6億円それぞれ増加したことなどにより、流動負債で11億4千7百万円増加、長期借入金が9千9百万円減少した一方で繰延税金負債が2億6千5百万円増加したことなどにより、固定負債で1億4千7百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末比11億5千4百万円増加し、257億1千9百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益5億2千4百万円による増加があった一方で配当金の支払い1億2千2百万円があったこと、その他有価証券評価差額金の増加7億5千4百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。

詳細につきましては、本日（2020年11月6日）公表いたしました「通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,646	6,443
受取手形及び売掛金	7,087	8,274
電子記録債権	673	781
たな卸資産	4,639	4,396
その他	1,607	1,571
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	19,653	21,467
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,311	1,286
土地	1,880	1,880
その他（純額）	93	100
有形固定資産合計	3,285	3,268
無形固定資産		
のれん	294	278
その他	227	214
無形固定資産合計	522	493
投資その他の資産		
投資有価証券	3,895	4,962
貸貸固定資産（純額）	3,769	3,748
長期預金	2,825	2,500
その他	591	551
貸倒引当金	△3	△0
投資その他の資産合計	11,078	11,760
固定資産合計	14,886	15,522
資産合計	34,539	36,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,746	5,180
短期借入金	2,600	3,200
1年内返済予定の長期借入金	199	199
未払法人税等	178	267
引当金	195	153
その他	673	740
流動負債合計	8,593	9,741
固定負債		
長期借入金	416	316
退職給付に係る負債	215	203
その他	748	1,009
固定負債合計	1,381	1,528
負債合計	9,975	11,270
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,644	2,644
資本剰余金	2,560	2,560
利益剰余金	19,044	19,446
自己株式	△650	△650
株主資本合計	23,598	24,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	961	1,716
繰延ヘッジ損益	3	1
その他の包括利益累計額合計	965	1,717
純資産合計	24,564	25,719
負債純資産合計	34,539	36,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	24,569	27,599
売上原価	20,484	22,721
売上総利益	4,085	4,878
販売費及び一般管理費	4,172	4,381
営業利益又は営業損失(△)	△87	496
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	62	60
仕入割引	351	387
投資不動産賃貸料	166	159
その他	55	31
営業外収益合計	637	640
営業外費用		
支払利息	4	4
売上割引	214	236
不動産賃貸原価	62	51
支払手数料	69	—
その他	16	14
営業外費用合計	366	307
経常利益	183	830
特別利益		
負ののれん発生益	54	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
投資有価証券評価損	44	26
固定資産除却損	0	4
特別損失合計	44	30
税金等調整前四半期純利益	193	799
法人税等	104	275
四半期純利益	88	524
親会社株主に帰属する四半期純利益	88	524

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	88	524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	754
繰延ヘッジ損益	1	△2
その他の包括利益合計	△43	752
四半期包括利益	44	1,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44	1,276

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。